

本学の大学院課程についての 情報共有

2025年9月27 (土) @zoom

春の大学院ガイダンス

吉田拓暉

理学院物理学系物理学コース
博士後期課程 2年

自己紹介

氏名：吉田 拓暉

出身：千葉県 船橋市

所属：理学院 物理学系

専門：物性物理学(トポロジカル物質)

教育：TA(力学/電磁気学/物理数学/英語),RA

奨学金等：学振DC1,中山報恩会(修士課程)

守谷育英会(博士課程),**SPRING**の前身



1. 修士課程での学修・授業・研究

2. お金の話

- 修士課程（奨学金、TA・RA、授業料免除）
- 博士後期課程（学振、本学の博士支援、卓越教育院）

大学院の学修スケジュール・ 授業・ 研究生生活

学修スケジュール・授業

研究室での活動
(ゼミ・輪講・
研究) で取得

物理学系の修了要件 (c.f. 各コースの学修案内) :

- 1. トータルで30単位以上の取得
- 2. コロキウム2単位、講究4単位、物理学コース演習8単位含め、物理関連で23単位
- 3. 文系教養3単位、アントレプレナーシップ2単位

M1				M2			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
物5	物3				物2		
物1 (集中講義)	物1 (集中講義)				物1 (海外学会)		
コロキ1			コロキ1				
文系1	文系1		文系1 (集中講義)				
アントレ2 (物理系科目)							アントレ1 (物 海外学会)

メッセージ:

- 修士課程の授業は多くない
- 集中講義をうまく使おう!
- 共通のアントレプレナーシップ科目は専門の授業で代替可能 (ダブルカウントは不可)

分野・研究室依存性が非常に高い（実験系は長時間拘束になりがち）

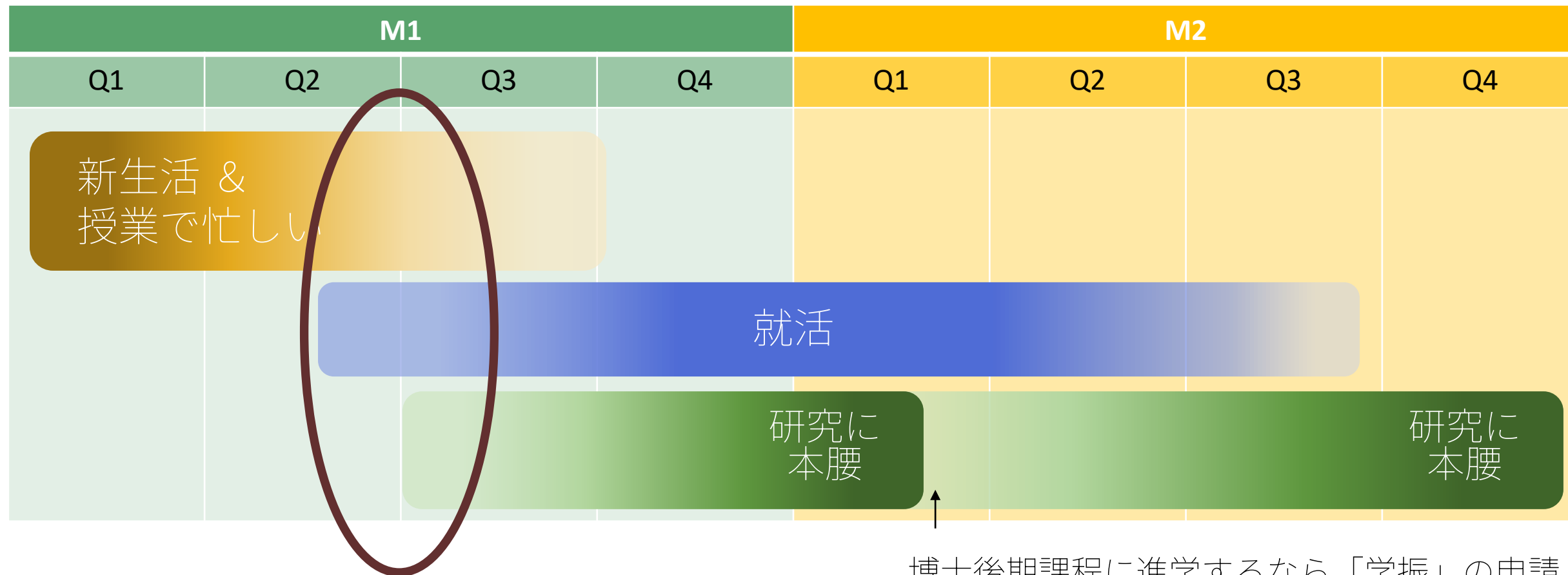
悩みは様々...

- 研究室の学生or教授とノリが合わない
- 研究室の人間関係が密・疎すぎる
- 他のメンバーに比べて自分だけ進捗が良くない etc...

メッセージ：

- 研究室以外でも友達を持とう！
 - 懇親会・講義・セミナーで積極的に他研の人に話しかける
 - 適当な全学イベントに出席（息抜きにもなる）
 - 高校の友達でもいいので縁を途切れさせない
- 定期的に体を動かそう
- カウンセリング窓口の積極的利用

博士進学 or 就職？



博士後期課程に進学するなら「学振」の申請
→ ここまでに研究成果が欲しいところ

メッセージ：

決心は早い方が楽。M1の夏ごろ目安に博士進学 or 就職に目途をつける

お金の話
～金銭的余裕は心の余裕～

JASSO (日本学生支援機構) と民間財団に大別される

JASSO

第一種 (無利子) と
第二種 (有利子) の貸与型奨学金
→ 以下のもので返済免除も！

種類	貸与月額	
	学種	貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	修士	50,000円、88,000円から選択
	博士	80,000円、122,000円から選択
第二種奨学金 (有利子)		5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

1. 論文
2. 著作物
3. 発明
4. 授業の成績
5. 教育・研究補助 etc...
(重要視される順)

メッセージ：

JASSOで借りるなら

1. 研究を頑張って論文や学会発表をこなす
2. 授業で好成績
3. TA・RA等(後述)で教育に貢献

で返済免除を目指す！

奨学金： 民間財団

- 貸与（要返済）と給与（返済不要）の2種類
- 応募は「大学推薦」と「直接応募」の2種類
 - 大学推薦は通りやすいが、併願不可
- 重複受給できるものも
- 推薦書が必要なことが多い
- 4月上旬～5月×切のものが多い

メッセージ：

- 要件などの詳細を確認してリスト化すると○
- ×切に向けて**早め早めの行動**を！



給与奨学金

募集中の給与奨学金（返還不要）一覧

● 募集終了分

『推薦人数』欄に人数が記載されている奨学金は大学推薦が必要です。申請方法を[こちらのページ](#)からご確認ください。学内締切日までに学生支援課に申請してください。

参考のため、募集終了分のページに募集を終了した給与奨学金の一覧を掲載します。

● 全てを閉じる

No.8 ▶ 公益財団法人 東京海上各務記念財団

学部生・学士生 60,000円又は70,000円又は100,000円

団体名	公益財団法人 東京海上各務記念財団		
対象者	学士課程2年	推薦人数	3名
出願資格	学士課程2年(2025年4月現在)。成績良好な者。（1年次の合否判定を除いた成績が「80点以上の履修科目÷合計履修科目数」の割合80%以上）		
月額	60,000円（前学年の成績に応じて加算分10,000円又は40,000円あり）※備考欄参照		
支給期間	最短修業年限		
他奨学金との重複	日本学生支援機構（給付・貸与）以外不可、地方公共団体は応相談		
学内選考申請締切	2025年3月21日		
備考	学内選考通過者は2025年5月14日（水）の面接選考に参加する必要があります。 採用者は5月27日(火)の授与式及び毎年11月開催の「交流の集い」への参加が必須です。 ※海外留学する奨学生に対して、別途海外留学支援制度あり。（最大月額20万円（又は30万円）＋渡航支援金）休学を伴わない派遣留学等の場合は国内奨学金に上乗せ支給。 ※※奨学金額は、前学年の単年度成績に応じて3区分のいずれかを給付（年度毎に区分見直し有） 区分①月額50,000円：「80点以上の履修科目数÷合計履修科目数」80%以上 区分②月額60,000円（加算分10,000円）：「80点以上の履修科目数÷合計履修科目数」90%以上かつ「90点以上の履修科目数÷合計履修科目数」1/3以上		

JASSOの返済免除にカウントされる

TA (Teaching Assistant):

- 授業を行う教員の補佐業務
- 内容は主に出席の確認や、採点補佐、授業進行補佐
- 業務が重いか軽いかは完全に科目に依存（要精査）
- 1Q（2か月程度）で数万円～10万円強

Ex) 物理学系の演習授業のTA

- 演習授業(30人強のクラスを1人で進行)
- 授業前後の質問対応
- レポート採点

Ex2) 英語の授業のTA

- 出席記録

RA (Research Assistant):

- 教員の研究補助業務
- 研究室によってはRA制度自体が存在しない

授業料免除

- 家計状況
- 成績

に基づいて免除の可能性あり（家計基準は目安。半額免除の可能性）

2025年後期 授業料免除・入学料免除申請日程

いかなる理由でも下記申請期間以降の申請は受け付けません。

ステップ1：システム申請	在学生：2025年9月18日(木)10:00～9月25日(木)23:59 新入生：2025年10月6日(月)10:00～10月14日(火)23:59
ステップ2：システム申請及び書類提出（注1）	在学生・新入生共通 2025年10月22日(水)10:00～10月31日(金)23:59

ステップ1(オンラインシステム申請)

10/6～10/14 (火)

ステップ2(紙面)

10/22～10/31 (金)

メッセージ：

- 経済的に厳しければ、可能性に賭けて申請してみる
- ×切はぜったい厳守！！！！

博士後期課程のお金の話

なぜ今、博士課程でのお金の話？

M1の初めの時点で既に進学 or 就職を意識しないといけないから！

日本学術振興会 特別研究員 **DC1,2** (通称：学振**DC1,2**)

- 月20万円＋研究費
- 倍率はおおよそ5倍
- **DC1,2**それぞれ**M2,D1**の5月に出願締め切り



《日本学術振興会 特別研究員 (DC1、DC2)》
学振特別研究員 (DC1、DC2) の方は授業料が免除されます。
授業料免除申請を行う必要はありません。

本学の博士支援 (学振と併給不可)

- 総合知と癒しの次世代フロンランナー育成プログラム
(**Science Tokyo SPRING**、月18万円＋研究費年30万円)
- トップレベルAI 研究のための共創型エキスパート人材育成プログラム
(**Science Tokyo BOOST**、月30万円＋研究費年30万円)

卓越大学院

- 研究して、授業に取り組んでお金をもらおう
- 5年一貫の博士課程学位プログラム
(~~なのにもらえるのは博士から...~~) 一部例外あり
- 学振等に上乗せで受給が可能

正確な情報は各HP
や
説明会へ！

物質・情報卓越コース

- 博士含む5年で、必修20単位＋審査
- D1から約14万/月
- 物質理工学院に多いイメージ

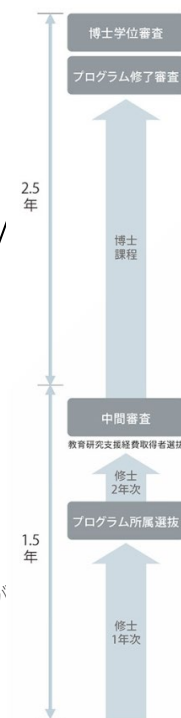
選抜試験を受けるチャンスは3回！



超スマート社会卓越教育院 (SSS)*

- 博士含む5年で、必修10単位＋審査
- D1から上限200万/年
- 工学院に多いイメージ

* 2026年4月、超スマート社会卓越教育課程の後継として、新複合系コース『超スマート社会卓越コース』が始まります。



エネルギー・情報卓越教育院 (ISE)

- 博士含む5年で、必修16単位＋審査
- D1から上限185万/年
- 物質理工学院に多いイメージ



※募集対象学生：修士課程学生・専門職学位課程学生・博士課程学生

※エネルギー・情報卓越教育院の登録学生となるための選抜は、2段階選抜となります

・第1次選抜（登録候補学生の選抜）：年2回（前学期・後学期に実施）

・第2次選抜（登録候補学生⇒登録学生への選抜）：年2回（前学期・後学期に実施）

・登録時期（正規学生としての登録）：年2回（4月、10月（後期開始時期））

・第2次選抜は書類審査、および第3～4Q開講のエネルギー・情報コース開講科目「エネルギーイノベーション協創プロジェクト」の随時・研究発表での審査（これと同等の研究発表での審査）、及び面接（必要に応じて）となります

・詳細な日程は募集が近くなりましたらHPに掲載します

- 集中講義等を使って授業と研究のバランスを取ろう
- 友人の存在と安定収入は心の余裕につながる
- TA・RAをやって研究をしっかりとるならJASSOはアリ
- 博士進学を考えるためにもお金関連に目を向けていこう